

経営比較分析表（令和5年度決算）

栃木県 地方独立行政法人栃木県立岡本台病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,062	非該当	非該当	15：1

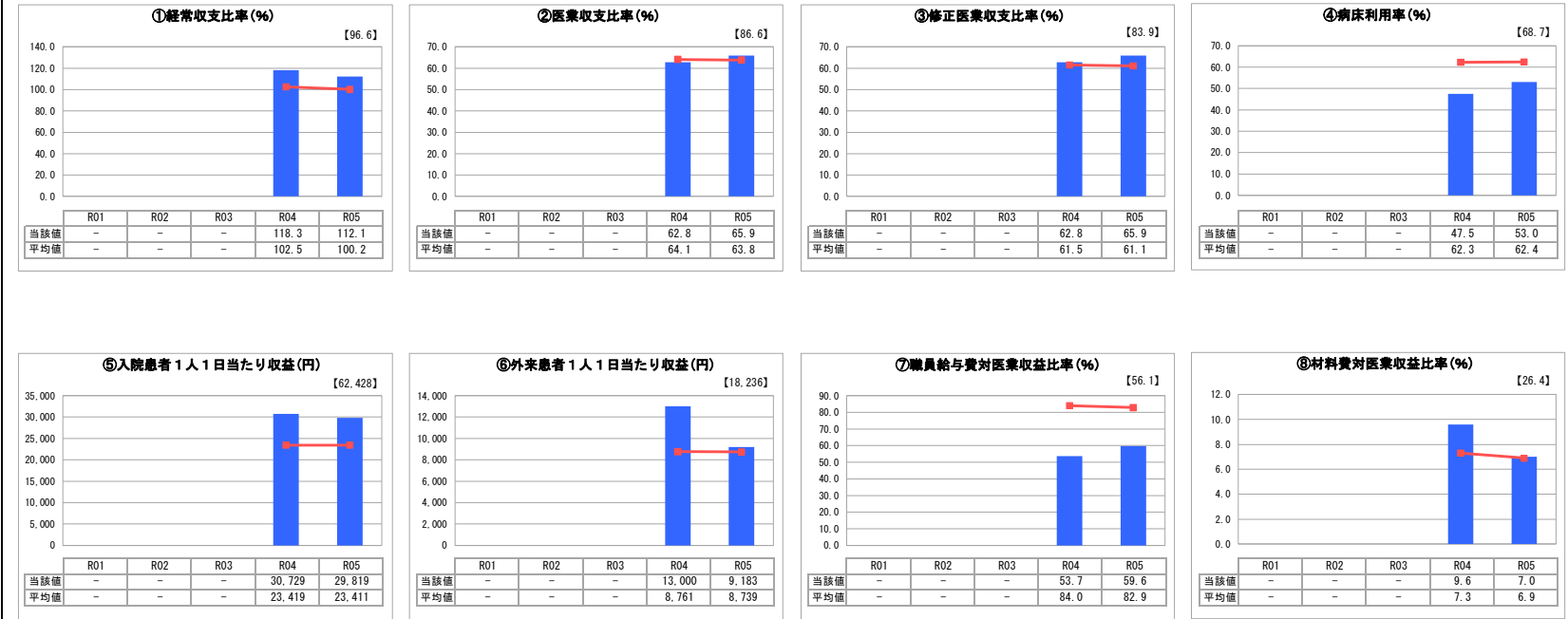
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

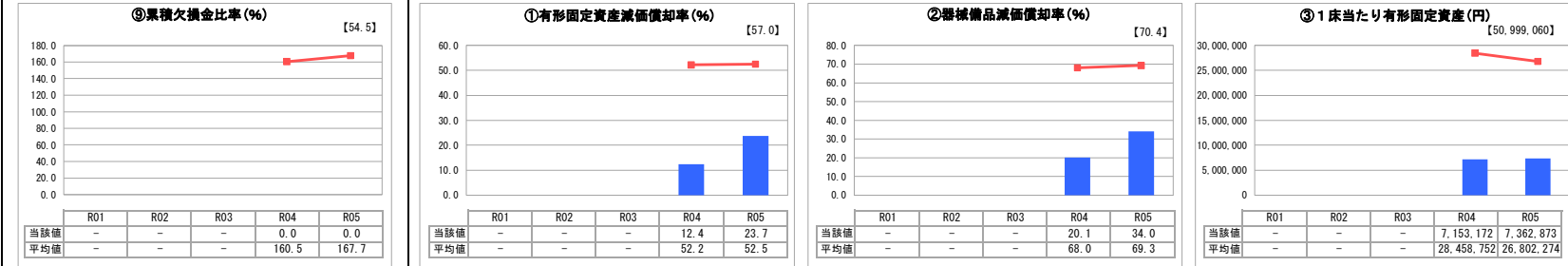
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
221	-	221
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の役割・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	-

I 地域において担っている役割

当院は、精神科緊急及び救急医療、アルコール・薬物等依存症医療、医療観察法医療など、精神疾患に係る高度・専門の医療を担う県の基幹病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率
令和4年度の地方独立行政法人化以降、2年連続で経常収支の黒字を確保するとともに、修正医業収支比率は類似病院の平均を上回った。

④病床利用率
令和5年度は、延べ入院患者数の増加等により病床利用率が増加したが、病床を休床している影響等により類似病院の平均は下回っている。

⑥外来患者1人1日当たり収益、⑧材料費対医業収益比率
令和5年10月に全面院外処方へ移行した影響により、令和4年度と比較して大幅に減少している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率、③1床当たり有形固定資産
令和4年度の地方独立行政法人化に伴う帳簿価格の再評価により類似病院の平均を下回っているが、老朽化が進行しているため、定期的な設備等点検の結果に基づき計画的に更新を実施し、適切な維持管理に努めていく。

全体総括

令和4年度の地方独立行政法人化以降、2年連続で経常収支の黒字を確保することができた。
引き続き、地方独立行政法人の特長を活かした病院運営により、病床利用率の向上を図るなど、収益性の高い経営基盤の確立に努めていく。